

(3) 化学物質の管理

発電所等で取り扱う化学物質については、関係法令に基づいた適正な管理を行っています。

PRTR制度*

指定化学物質の排出量、移動量を調査集計するとともに、自主的に結果を公表しています。

※:PRTR制度(Pollutant Release and Transfer Register:化学物質排出移動量届出制度)とは、有害性のある多種多様な化学物質が、どのような発生源から、どれくらい環境中に排出されたか、あるいは廃棄物に含まれて事業所の外に運び出されたかというデータを把握・集計し、公表する仕組み。

PRTR調査実績(2013年度)

物質番号	物質名	主な用途	取扱量	排出量	移動量
53	エチルベンゼン	機器塗装	1,400	1,400	0
71	塩化第二鉄	排水処理剤	27,000	0	0
80	キシレン	機器塗装 発電用燃料	3,000	3,000	0
300	トルエン	発電用燃料	7,000	7,000	0
333	ヒドラジン	給水処理剤	5,100	0.9	0
392	ノルマル-ヘキサン	発電用燃料	4,100	4,100	0
400	ベンゼン	発電用燃料	93,000	240	0
438	メチルナフタレン	発電用燃料	709,100	3,548	160

(注) 事業所における年間取扱量1トン以上の第1種指定化学物質(特定第1種指定化学物質は0.5トン以上)について集計(法に基づく届出値を集計)。

PCB(ポリ塩化ビフェニル)

PCB廃棄物には、絶縁材料としてPCBを使用した「高濃度PCB使用電気機器等」と絶縁材料に何らかの原因で微量のPCBが混入し汚染された「微量PCB汚染廃電気機器等」があります。当社が保有する高濃度PCB使用電気機器等は、2006年度から、日本環境安全事業(株)のPCB廃棄物処理施設において、計画的に無害化処理を進めており、2014年3月末現在の処理率は97%となっています。

また、微量PCB汚染廃電気機器等については、2009年11月の関係省令(無害化処理認定制度等)改正により処理が可能となった一部の電気機器等の無害化処理を、2010年度から開始しています。

なお、PCB廃棄物は、廃棄物処理法などに基づき厳重に保管・管理を行っています。



PCB廃棄物の保管・管理状況

石綿(アスベスト)

当社の建物及び設備の一部には、飛散性があるとされる「吹付け石綿」と、通常状態において飛散性がない「石綿含有製品」を使用しています。

吹付け石綿は、関係法令にのっとり適切に対策工事を実施し、すべての使用箇所まで飛散防止対策を完了しています。石綿含有製品については、定期検査や修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品への取替えを進めています。また、建物・設備を解体する際には、法令などにに基づき飛散防止措置を徹底の上、適切に解体・搬出・処理を行っています。

WEB 詳細は九州電力ホームページ
関連・詳細情報(P2参照) > 石綿の使用状況

建物及び設備における主な石綿使用状況(2014年3月末現在)

対象	使用箇所	現状(使用状況等)	備考(対応状況他)	
吹付け石綿	設備機器室、変圧器室等の防音材、断熱材、耐火材として一部の壁面や天井に使用	・すべての使用箇所について飛散防止対策済	・定期点検が必要な対策済の建物については、毎年状態を確認	
石綿含有製品	建材	建物の耐火ボード、床材等に使用	・成形品であり、通常状態において飛散性はないため、修繕工事等の機会に合わせて順次、非石綿製品へ取替中	
	防音材	変圧器防音材(変電設備・水力発電設備)		・71台
	石綿セメント管	地中線用の管路材料(送電設備・配電設備)		・こう長:約180km
	保温材	発電設備(火力設備・原子力設備)		・石綿含有製品残数:約3万㎡
	シール材 ジョイントシート	発電設備(火力設備・原子力設備)		・石綿含有製品残数:(火力)約35万個 (原子力)約15万個
	緩衝材	懸垂碍子(送電設備)		・懸垂碍子:約145万個 (碍子内部において、緩衝材として石綿含有製品を使用。碍子表面の磁器部分には不使用。)
	増粘剤	架空線用の電線(送電設備)		・電線防食剤:こう長約94km

(注) 火力設備には地熱発電設備、内火力発電設備を含む。

用語集をご覧ください

- ステークホルダー
- PRTR(制度)
- 指定化学物質
- エチルベンゼン
- 塩化第二鉄
- キシレン
- トルエン
- ヒドラジン
- ノルマル-ヘキサン
- ベンゼン
- メチルナフタレン
- 第1種指定化学物質
- PCB(ポリ塩化ビフェニル)
- 無害化処理認定制度
- 石綿(アスベスト)
- 懸垂碍子
- 架空線
- 防食グリース